

# つながり

大上好久

令和5年10月16日発行

Tel:29-5210 Fax:21-3456

由宇小学校



## 地域の魅力は 足でかせいで 見つける！

文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会が、平成27年12月に「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた 学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(答申)」の中で、「地域における学校との協働体制の目指す姿」を示しています。

その中で、「地域の人材・物的資源を活用するなど、学校教育の目指すところを社会と共有・連携しながら実現する必要がある。例えば、郷土学習の場合は、地域住民と学校とが相互に知識と経験、物や施設を提供し合って教育活動をすることが望ましい。」と述べています。

本号では、地域学校協働活動推進員がコーディネート(まとめ)役を務め、教職員に地域の人材・資源の魅力を体感させ、教育活動に生かしている由宇小学校を紹介します。

### 教職員の夏の地域研修 <地域の教育資源を知る！>

【令和3年度】 銭壺山・ふれあいパーク, 由宇歴史民俗資料館, 史跡めぐり

【令和4年度】 ミクロ生物館, TARO のいちご

【令和5年度】 なかくら蕎麦工房

里山再生プロジェクトの一つです。十割蕎麦の美味しさと蕎麦打ちの楽しさを味わって下さい。  
<地域住民>

同じ幅に切るのは難しいけど楽しいです。体験は貴重です。  
<教職員>

自分が作った蕎麦は、メチャクチャ旨いです。子供も喜びそうです。  
<教職員>

耕作放棄地を活用した蕎麦作り・蕎麦打ち体験は、由宇地区の活性化に役立っています。素晴らしい取組を職業講話として、授業の中で子供に伝えてもらうことにしました。  
<永田 校長>

地域連携教育の出発点は、学校と地域がお互いを知ることです。教職員が体験により学んだ地域の魅力は、子供たちにしっかりと伝えられ、子供たちが地域をもっと好きになると思います。

岩国市教育委員会は、地域学校協働活動推進員を14名委嘱し、中学校区ごとに1名配置しています。

#### 主な役割

学校や学校運営協議会と連携を図りつつ、時には学校との連絡窓口となり、時には住民、保護者間の調整役となって協働活動を推進していくことです。簡潔に言うと、地域と学校をつなぐ役割です。

今年もお世話できてよかったです。  
<地域学校協働活動推進員 藤重さん>

